

タイの大学と交流 金井学園覚書調印

人材育成、研究活用へ

学校法人金井学園(福井市)はこのほど、タイの公立総合大学「ワラヤ・アロンコン・ラチャパット大」と、学術交流に関する覚書を締結した。同学園の福井工大と教職員の交流を進め、互いの人材育成や学術研究に生かしていく。

同学園が海外の教育機関と協定を結ぶのは今回で5件目。ワラヤ・アロンコン・ラチャパット大には付属の小中高校があり、同学園も中学校と高校があることから、中学、高校を含めた幅広い交流も視



学術交流の覚書を交わす金井学園の金井理事長(左)とタイのワラヤ・アロンコン・ラチャパット大の学長(右)。3月、タイの同大(金井学園提供)

野に入れる。

大学交流としては、福井工大大学院の博士課程にタイ側の大学教員が留学し、博士号取得に向けた研究活動を行う。タイに戻り、再び大学の教壇に立つことで、両大学の研究交流につなげていく。

3月に同学園の金井兼理事長らがタイを訪れ、覚書に調印した。
(石井敬夫)